

## 感染症情報 2月25日～3月3日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,314例(堺市	97例)
②溶連菌感染症	550例(堺市	58例)
③RSウイルス感染症	197例(堺市	18例)
④咽頭結膜熱	95例(堺市	8例)
⑤伝染性紅斑	86例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点302医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 1,381例(堺市 145例)

感染症報告数は前週比0.9%増の2,434件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、伝染性紅斑の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比6%減、堺市は13%増であった。溶連菌感染症は府下で8%増、堺市で16%減であった。RSウイルス感染症は府下で15%増、堺市で11例→18例であった。咽頭結膜熱が府下で27%増、堺市では5例→8例であった。伝染性紅斑が府下で4%増、堺市で8例→2例となった。

インフルエンザは府下で前週1,961例→今回1,381例となった。30%減で定点当たりの報告数は6.49→4.57となり、大阪府全ブロックで減少が続いている。堺市では前週238例→今回145例となった(39%減)。

麻疹の報告が府下で今回7例あり(堺市で3例あり)。感染は拡大中で、すぐ近くに迫っている。麻疹の年始からの府内累計報告数は102例となった。風疹も府下で同15例あった(堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は72例となった。